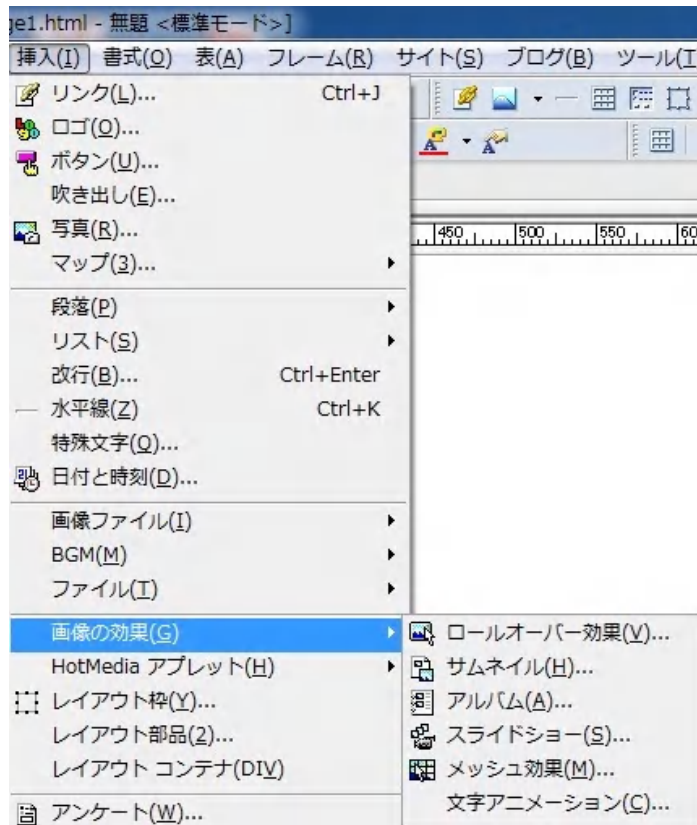


ホームページ作成備忘録 No12 ホームページビルダー諸機能の活用

ホームページビルダーには基本的な機能の他にも沢山の機能があります。



メニューバーの[挿入]から[画像の効果]を選択すると[サムネイル][アルバム][スライドショー][メッシュ効果]等のウィザードが表示されます。
[サムネイル][アルバム][スライドショー]は、既に御馴染の事と思いますが、基本的なマニュアルは、[HP 復習ノート]の No14-16)をご参照ください。

ホームページビルダには様々な機能があり、すべてをマスターする必要はありませんが、少し手を加えただけで、ページの見栄えが良くなるツールも数多くありますので更新の際にはお試してください。

★ フォントを考える。

厳密には、[フォント]は、パソコン用語で、[書体]は、印刷用語ですが、一般的には同一に扱われています。

ホームページにとって[フォント]は大変重要な役割を果たしています。訪問された方にとって[見やすい][読みやすい]フォントで書くことが必要です。そのためには[背景色][サイズ][文字色]などを考えあわせながら記述するように心がけましょう。

★ フォントの基礎知識

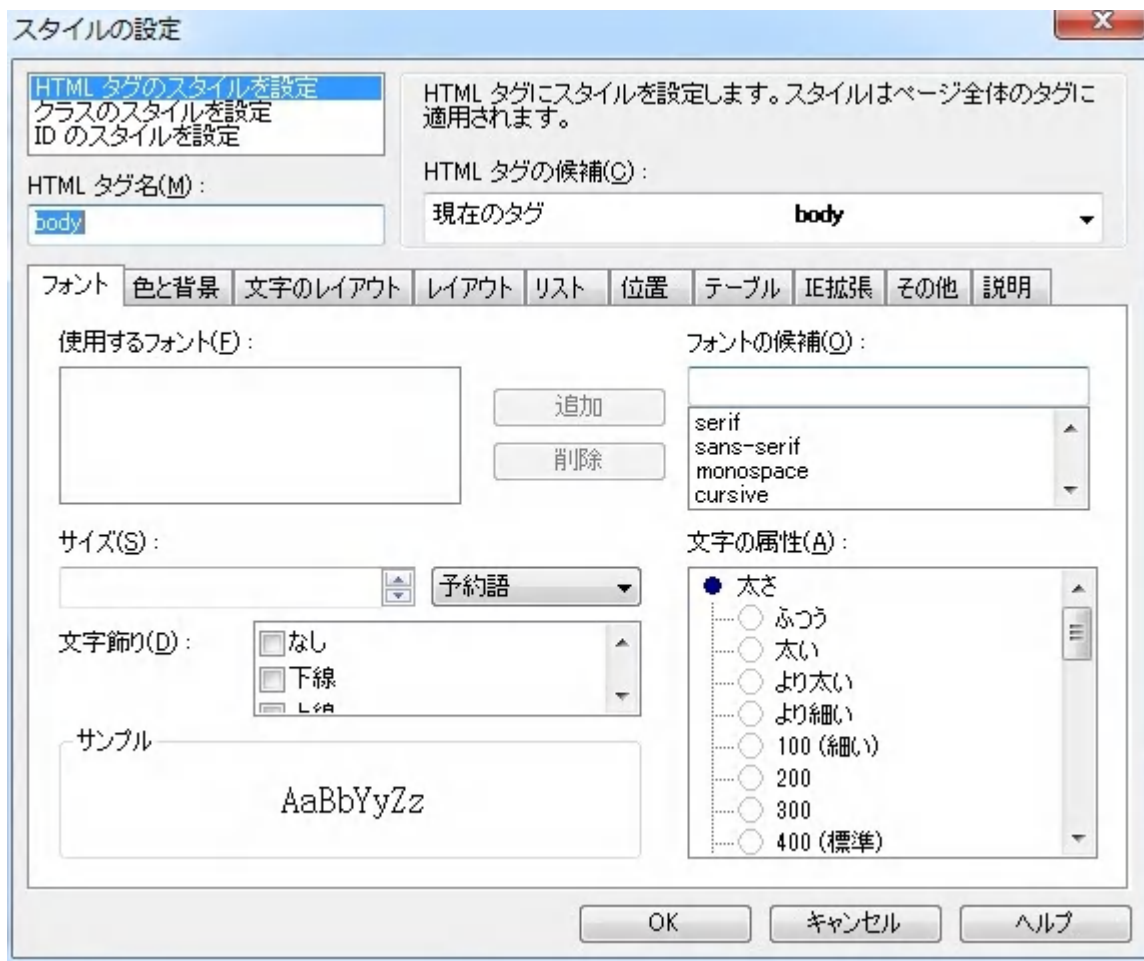
日本語を使う場合は、大きく分けて2つのフォントを使います。[明朝体]と[ゴシック体]です。[明朝体]は文章用に用い、[文字を読ませる][まじめな印象]が特性です。[ゴシック体]は見出しに用い、[文字を見せる][気楽な感じ]が特性です。

■ CSS ではフォントは、次の五種類に分類できます。

1. セリフ (serif) 日本語では[明朝体]
2. サンセリフ (sanserif) 日本語では[ゴシック体]
3. 等幅文字 (monospace)
4. 手書き文字 (cursive) 日本語では[行書体]
5. 装飾文字 (fantasy) 日本語では[pop] ★特殊フォントです。

次の図は、[スタイルの設定画面]です。右サイドの[フォントの候補]の中から選択します。勿論1-5のフォントの下に一般のフォントもあります。フォントを選択する場合、スクロールで選択するのは面倒です。例えばMS明

朝を選択する場合は、書式の上段の窓に指定する書式(例ms)と書くと、ms のフォントが表示されますのでこの中から選択すると楽です。

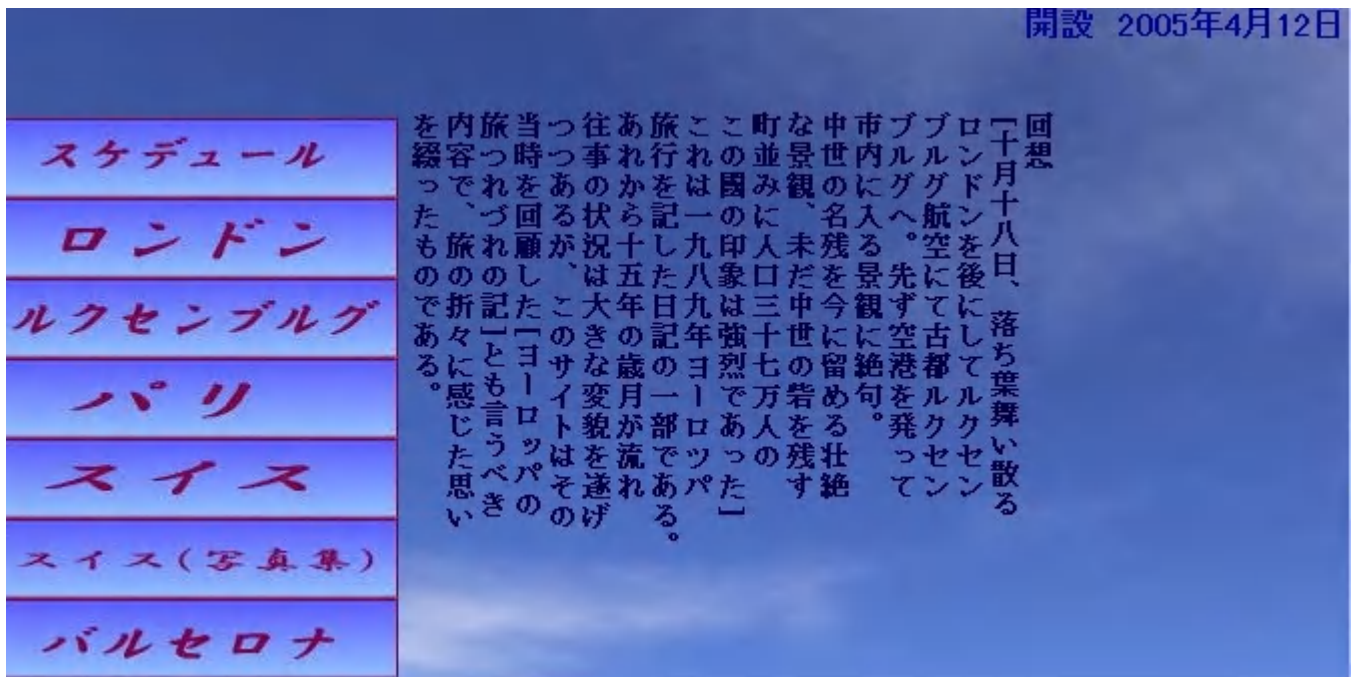


■ 記述済みの文字列を変更するには、メニューバーの[書式]から[フォント]を選択して[色][サイズ][書式]の設定を行います。 変更したい文字列の範囲指定(反転させて色が変わる)してから操作してください。



■ 縦書き文字の作成

ファイルの種類によっては、説明文を[縦書き]にすることでページの見栄えが良くなる場合があります。[縦書き]もメニューの一つに加えて見てください。下図は、トップページの縦書きの例示です。



[縦書きの作成マニュアル]は、[HP復習ノートNo06]をご参照ください。

■ 背景色の使い方

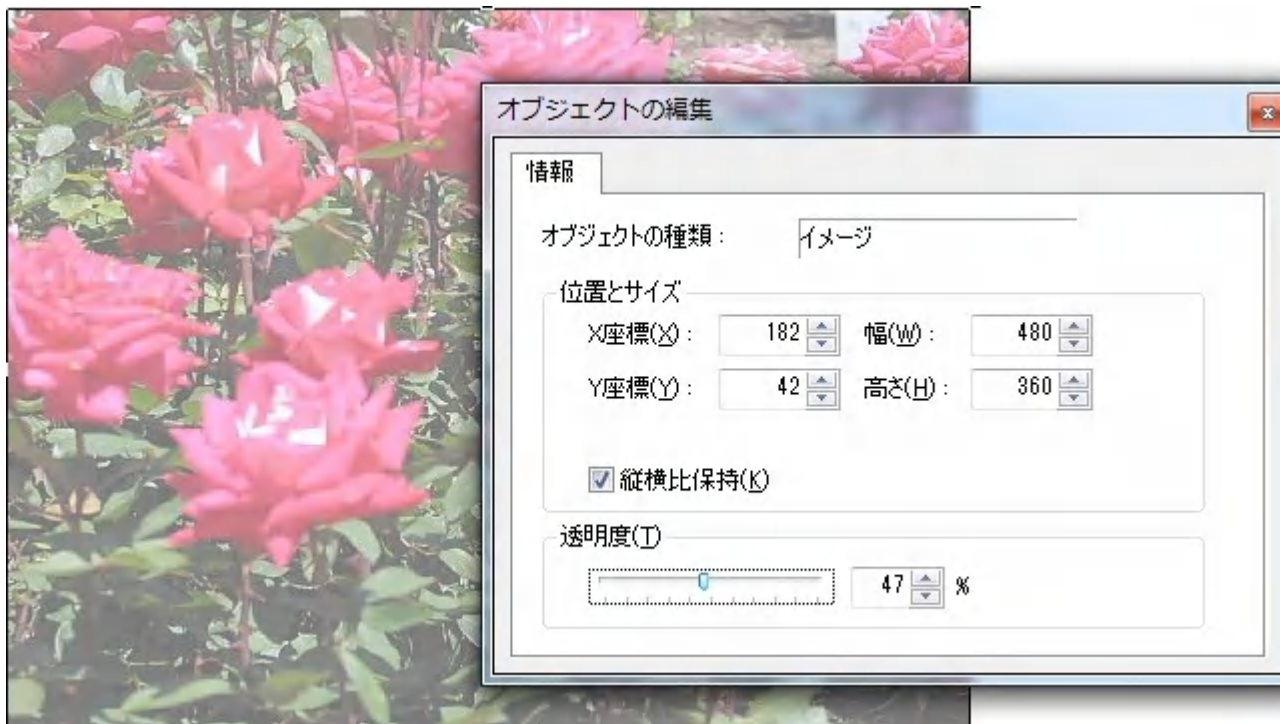
★ 背景色は、なるべく薄い色を使うのが基本です。

- ① [ページのプロパティ]画面の[背景]をクリックし、色指定の枠で[その他]を選択。
- ② [色の設定]画面で色を選択します。



■ 背景画像の使い方

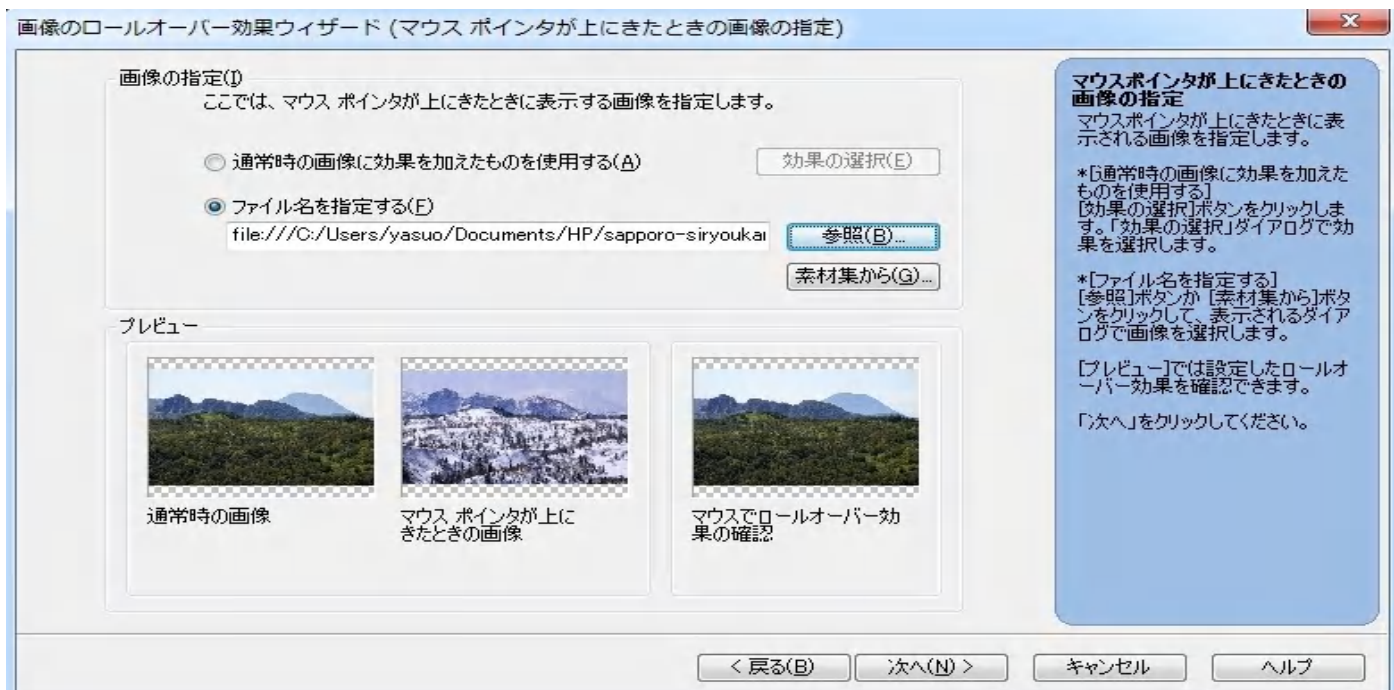
①[ウェブアートデザイナー]を開き画像を挿入します。②画像を右クリックして[オブジェクトの編集]をクリックします。③[オブジェクトの編集]画面で[幅][高さ]を設定します。④[透明度の]スライダーを動かして透明度数をきめます。



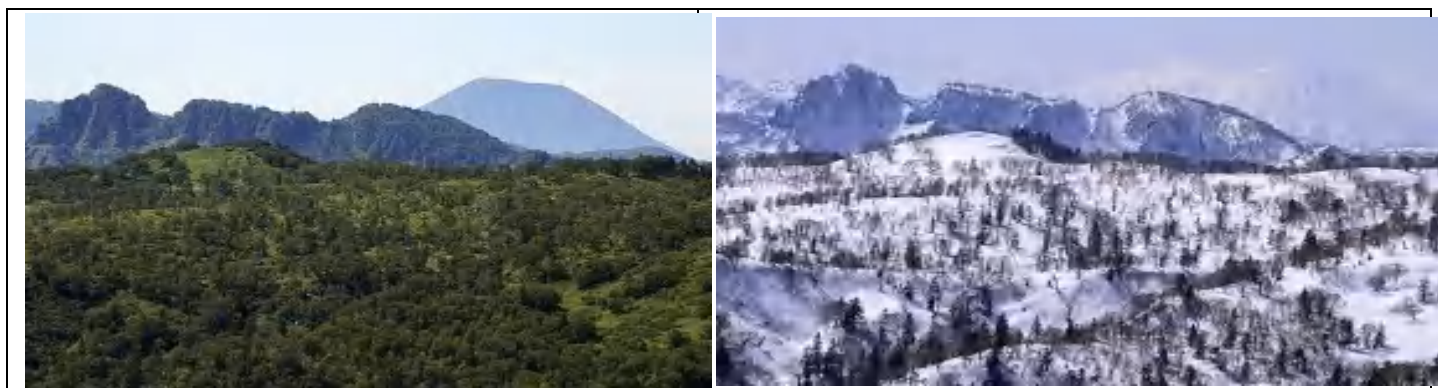
[背景色と背景画像の使い方]は、[HP復習ノート08]をご参照ください。

■ ロールオーバー効果

2枚の画像を使って画像に変化をもたらします。[ロールオーバー]は、或る画面の上にポインターが重なると、それまで表示されていた画像が別の画像に変わるものです。

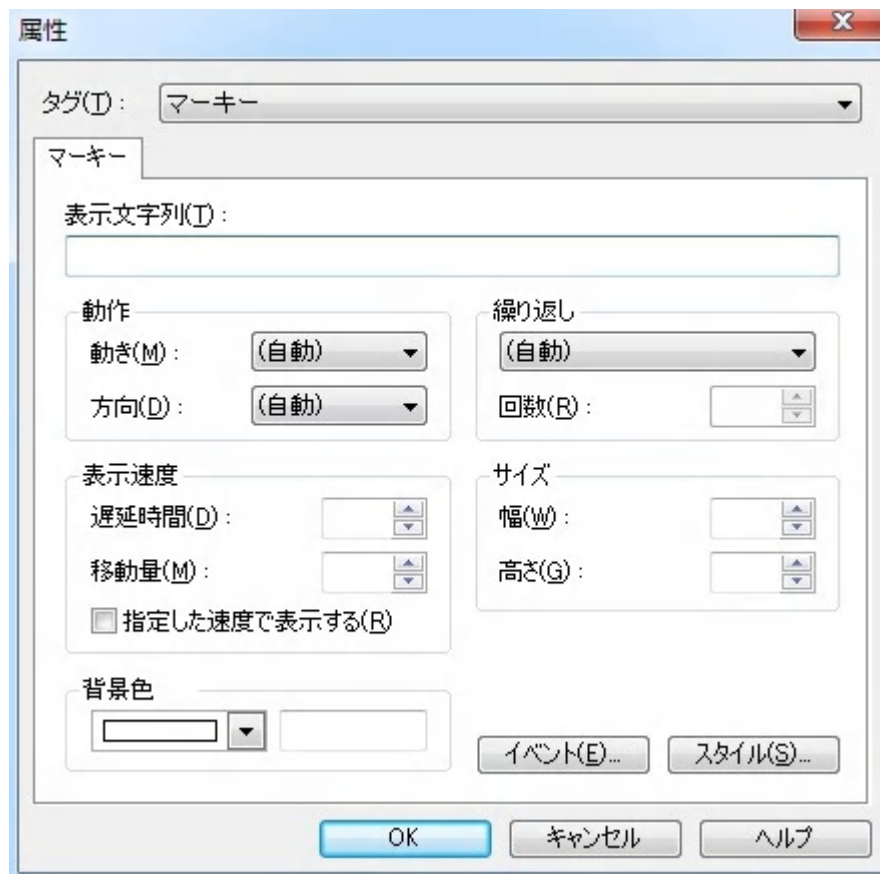


左の画面にマウスを乗せると右の画像が表示されます。画像にバリエーションを持たせる事が出来ます。詳しくは、[\[HP復習ノート17\]](#)をご参照ください。



■ マーキーの設定

[マーキー(marquee)]は、流れるメッセージの事です。詳しくは、[\[HP復習ノート07\]](#)をご参照ください。



- ①メニューバーの[挿入]から最下段の[その他]をクリックして表示された画面から[マーキー]を選択します。
- ②左図が表示されます。
- ③[表示文字列]のウィンドウに文字を書きます。
- ④[動作]で[動き][方向]を設定します。
- ⑤[繰り返し]では[連続][指定回数]のいずれかを選択します。
- ⑥[表示速度]は特に操作する必要はありません。
- ⑦[サイズ]は、設定するサイズを書き込みます。
- ⑧[背景色]を付ける場合は、色を選択します。

■ BGMの挿入と操作パネルの設置

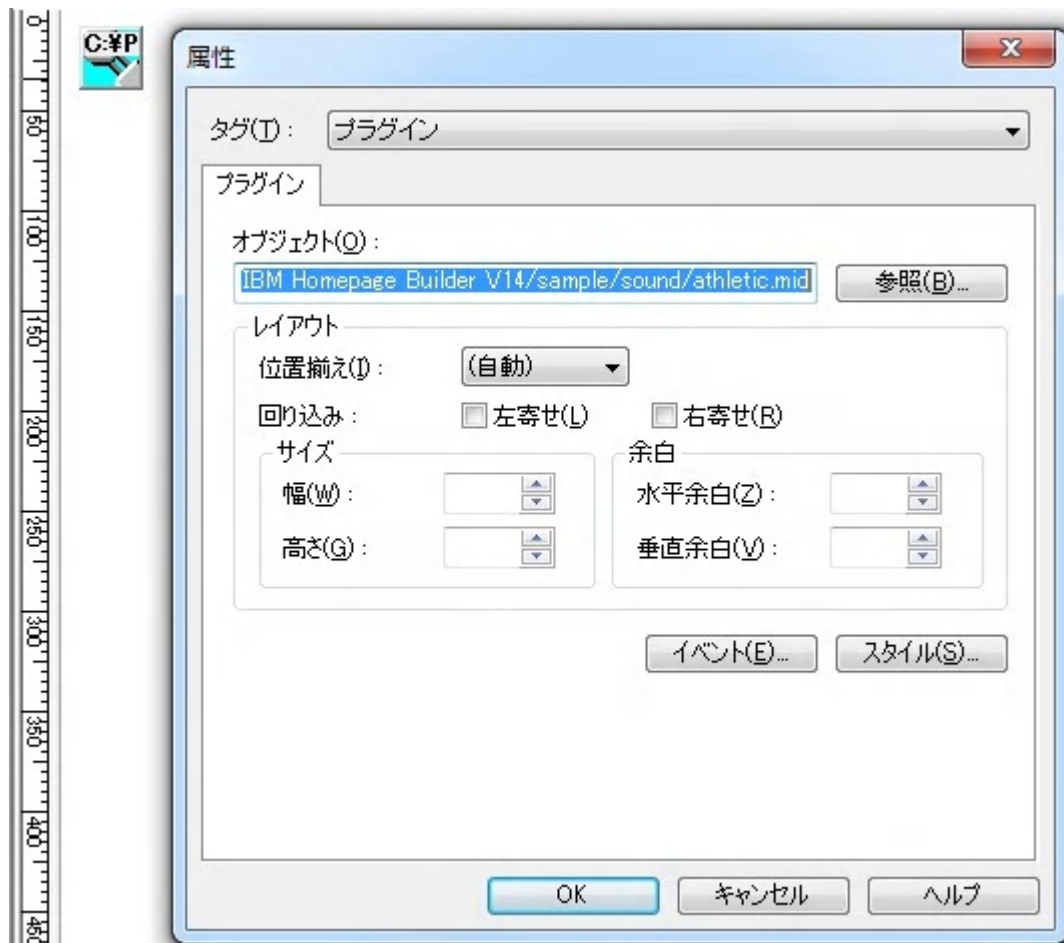
音楽を挿入する際には、訪問される方の事を考える必要があります。訪問者の選択が出来るようなパネルの設置をすることが親切な方法です。

[BGM]を挿入するには、メニューバーの[挿入]から[BGM]を選択し、[ファイルから]をクリックします。フォルダから曲を選ぶと画面に[アイコン]が表示されます。[プレビュー]画面を開くと音楽が流れます。

■ [BGM の操作パネル]を表示する方法。

<embed src="***mid" autstart="true" hidden="true" loop="true"> を[hidden="true]の[true]を[false]に書き換えます。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<meta name="GENERATOR" content="IBM WebSphere Studio Homepage Builder Version 14.0.3.0 for Windows">
<title></title>
</head>
<body bgcolor="#ffffff">
<p><embed src="file:///C:/Program Files/IBM Homepage Builder V14/sample/sound/athletic.mid" autostart="true" hidden="false" loop="true"></p>
</body>
</html>
```



①[アイコン]を右クリックし[属性の変更]を選択します。
②[属性]画面のサイズを設定します。
★ 上段の[タグ]が[プラグイン]になっている事を確認してください。
★ 操作パネルを表示する場所を決めて挿入することが必要です。詳しくは、HP復習ノートNo21]をご参照ください。

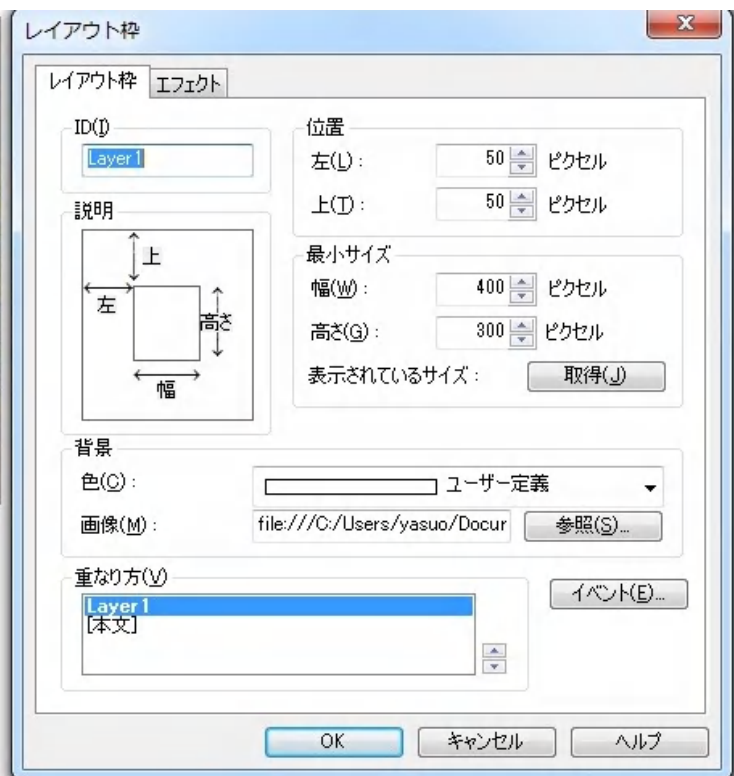


上の画面の[幅]と[高さ]にピクセル数を記入してください。左のサンプルは[幅 200][高さ 20]です。

■ ダイナミックHTML

[ダイナミックHTML]とは、動きのあるページを作るための新しい技術です。これまでは、動きのあるページを作るには、アニメーションGIF や別ソフトが必要でしたが、ビルダーに[ダイナミックHTML]が導入され、これを利用するとHTML ファイルだけで動きのあるページを作る事が出来る様になりました。これを利用するには[レイアウト枠][エフェクト]を使います。

- ① メニューバーの[挿入]から[レイアウト枠]を選択しクリックします。 [レイアウト枠]画面が表示されます。 枠の位置、サイズ、画像を挿入し挿入した画像を右クリックして[レイアウト枠の属性]を選択します。
- ② [レイアウト枠]画面の[エフェクト]を選択し、[エフェクト]からパターンを選択し[パターン][スピード]を決め、[繰り返す]にチェックを付けてOK です。



[エフェクト]には、[フェードアウト] [スクロール] [ワイプ] [バイブレーション] [回転]など様々なパターンがありますので、画像に合ったパターンを選んでください。[サンプル表示]で確認も出来ますがパターンを変える場合は、画像を右クリックして[レイアウト枠の属性]に戻り操作をしてください。